

⑫ 公開特許公報(A) 平4-115358

⑤ Int. Cl.⁵G 06 F 15/21
B 65 G 63/00
G 06 F 15/21

識別記号

Z 7218-5L
G 7502-3F
T 7218-5L

庁内整理番号

④ 公開 平成4年(1992)4月16日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 船積予定貨物量処理システム

⑮ 特 願 平2-236439

⑯ 出 願 平2(1990)9月6日

⑰ 発 明 者 町 田 明 利 東京都港区芝5丁目7番1号 日本電気株式会社内
 ⑱ 発 明 者 塩 島 ふ く 東京都港区芝5丁目7番1号 日本電気株式会社内
 ⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号
 ⑳ 代 理 人 弁理士 河原 純一

明 細 書

1. 発明の名称

船積予定貨物量処理システム

2. 特許請求の範囲

手配情報を手配明細ファイル部に登録する手配
 情報登録手段と、

前記手配明細ファイル部に登録された手配情報
 を参照して船積予定品を指定することにより船積
 予定品情報を船積予定ファイル部に登録する船積
 予定品指定手段と、

個々の手配品の箱割基準を記憶する箱割基準情
 報ファイル部を参照し前記船積予定ファイル部に
 登録された船積予定品情報に基づいて船積予定品
 に対する箱割処理を行って箱割情報を作成し前記
 船積予定ファイル部に登録する箱割処理手段と、

個々の手配品および梱包箱の重量情報を記憶す
 る重量基準ファイル部を参照し前記船積予定ファ
 イル部に登録された船積予定品情報および箱割情
 報に基づいて船積予定貨物量を計算して船積予定
 貨物量情報を前記船積予定ファイル部に登録する

船積予定貨物量処理手段と、

前記船積予定ファイル部に登録されている船積
 予定品情報、箱割情報および船積予定貨物量情報
 を参照して船積予定貨物量リストを作成するリス
 ト作成手段と

を有することを特徴とする船積予定貨物量処理
 システム。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は船積予定貨物量処理システムに関し、
 特に物流管理における船積予定貨物量処理システ
 ムに関する。

(従来技術)

従来、物流管理における船積予定貨物量の算出
 は、社内の手配情報および船積予定品情報を基に
 過去の船積貨物量の実績を参考して人手により行
 っていた。

(発明が解決しようとする課題)

上述した従来技術の船積予定貨物量の算出は、社内
 の手配情報および船積予定品情報を基に過去の船

積貨物量の実績を参考して人手により行われていたので、出荷業務に精通している熟練者でなければ短時間に精度の高い船積予定貨物量を算出できないという欠点がある。

本発明の目的は、上述の点に鑑み、手配品の登録、船積予定品の指定、箱割処理、船積予定貨物量処理およびリスト作成処理の一連の処理を機械化するようにした船積予定貨物量処理システムを提供することにある。

(課題を解決するための手段)

本発明の船積予定貨物量処理システムは、手配情報を手配明細ファイル部に登録する手配情報登録手段と、前記手配明細ファイル部に登録された手配情報を参照して船積予定品を指定することにより船積予定品情報を船積予定ファイル部に登録する船積予定品指定手段と、個々の手配品の箱割基準を記憶する箱割基準情報ファイル部を参照し前記船積予定ファイル部に登録された船積予定品情報に基づいて船積予定品に対する箱割処理を行って箱割情報を作成し前記船積予定ファイル部に

を行って箱割情報を作成し船積予定ファイル部に登録し、船積予定貨物量処理手段が個々の手配品および梱包箱の重量情報を記憶する重量基準ファイル部を参照し船積予定ファイル部に登録された船積予定品情報および箱割情報に基づいて船積予定貨物量を計算して船積予定貨物量情報を前記船積予定ファイル部に登録し、リスト作成手段が船積予定ファイル部に登録されている船積予定品情報、箱割情報および船積予定貨物量情報を参照して船積予定貨物量リストを作成する。

(実施例)

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は、本発明の一実施例に係る船積予定貨物量処理システムを示すブロック図である。本実施例の船積予定貨物量処理システムは、船積予定貨物量処理部1と、社内の手配情報を記憶する手配明細ファイル部2と、船積予定品情報、箱割情報および船積予定貨物量情報を記憶する船積予定ファイル部3と、個々の手配品の箱割基準を記憶する箱割基準情報ファイル部4と、個々の手配品

登録する箱割処理手段と、個々の手配品および梱包箱の重量情報を記憶する重量基準ファイル部を参照し前記船積予定ファイル部に登録された船積予定品情報および箱割情報に基づいて船積予定貨物量を計算して船積予定貨物量情報を前記船積予定ファイル部に登録する船積予定貨物量処理手段と、前記船積予定ファイル部に登録されている船積予定品情報、箱割情報および船積予定貨物量情報を参照して船積予定貨物量リストを作成するリスト作成手段とを有する。

(作用)

本発明の船積予定貨物量処理システムでは、手配情報登録手段が手配情報を手配明細ファイル部に登録し、船積予定品指定手段が手配明細ファイル部に登録された手配情報を参照して船積予定品を指定することにより船積予定品情報を船積予定ファイル部に登録し、箱割処理手段が個々の手配品の箱割基準を記憶する箱割基準情報ファイル部を参照し船積予定ファイル部に登録された船積予定品情報に基づいて船積予定品に対する箱割処理

および梱包箱の重量情報を記憶する重量基準ファイル部5と、キーボード、ディスプレイ等からなる入出力部6と、プリンタ7とを備えて構成されている。

船積予定貨物量処理部1は、手配情報登録手段11と、船積予定品指定手段12と、箱割処理手段13と、船積予定貨物量処理手段14と、リスト作成手段15とを含んで構成されている。

第2図を参照すると、本実施例の船積予定貨物量処理システムの処理は、手配情報登録ステップ20と、船積予定品指定ステップ21と、箱割処理ステップ22と、船積予定貨物量処理ステップ23と、船積予定貨物量リスト作成ステップ24と、船積予定貨物量リスト出力ステップ25とからなる。

次に、このように構成された本実施例の船積予定貨物量処理システムの動作について説明する。

始めに、船積予定貨物量処理部1は、手配情報登録手段11により、入出力部6から社内の手配品の品名、数量等を入力し、手配情報を手配明細

ファイル部2に登録する(ステップ20)。

次に、船積予定貨物量処理部1は、船積予定品指定手段12により、手配明細ファイル部2に登録された手配情報を参照して入出力部6から船積予定品に対して船積ロット単位に船積予定指示を行い、船積予定品情報を船積予定ファイル部3に登録する(ステップ21)。

続いて、船積予定貨物量処理部1は、箱割処理手段13により、箱割基準情報ファイル部4に登録された個々の手配品の外形寸法、過去の梱包実績等の箱割基準情報を参照し、船積予定ファイル部3に登録された船積予定品情報に基づいて船積予定品に対する箱割処理を行い、船積予定品に対する箱割情報を船積予定ファイル部3に登録する(ステップ22)。

次に、船積予定貨物量処理部1は、船積予定貨物量処理手段14により、重量基準ファイル部5に登録された個々の手配品および梱包箱の重量を参照し、船積予定ファイル部3に登録された船積予定品情報および箱割情報に基づいて船積予定貨

物量の計算を行い、船積予定貨物量情報を船積予定ファイル部3に登録する(ステップ23)。

最後に、船積予定貨物量処理部1は、リスト作成手段15により、船積予定ファイル部3にすでに登録されている船積予定品情報、箱割情報および船積予定貨物量情報を参照して船積予定貨物量リストを作成し(ステップ24)、プリンタ7に出力する(ステップ25)。

以上により、船積予定貨物量処理部1による一連の処理が終了する。

(発明の効果)

以上説明したように本発明は、船積予定貨物量処理部に手配情報登録手段、船積予定品指定手段、箱割処理手段、船積予定貨物量処理手段およびリスト作成手段を設け、手配品の登録、船積予定品の指定、箱割処理および船積予定貨物量処理の一連の処理を機械化することにより、出荷業務に精通している熟練者を必要とせず自動的に船積予定貨物量を算出でき、出荷業務の効率向上および精度向上を図ることができるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例に係る船積予定貨物量処理システムの構成を示すブロック図、

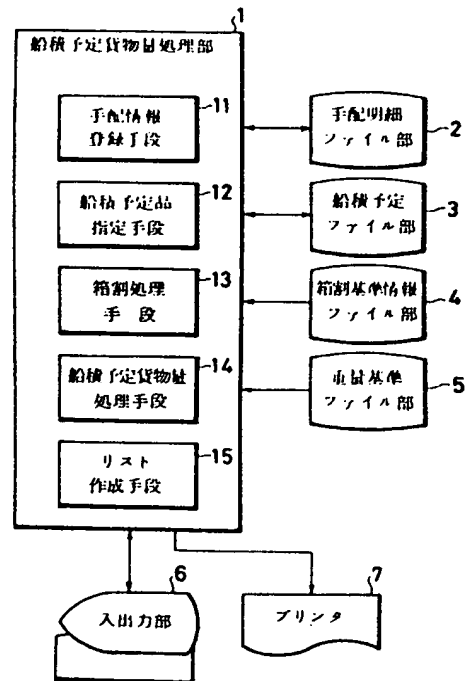
第2図は本実施例の船積予定貨物量処理システムの処理を示す流れ図である。

図において、

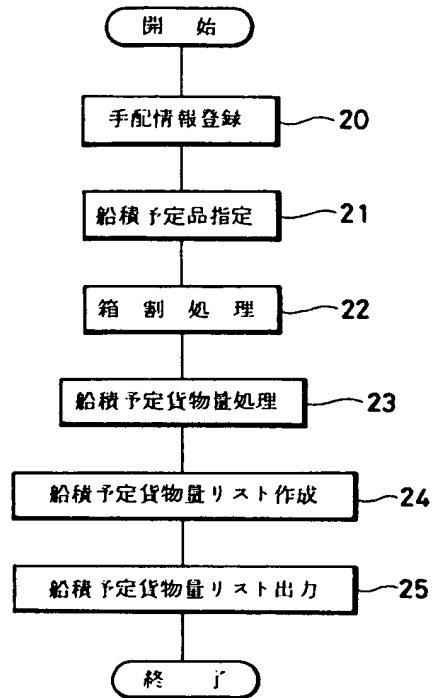
- 1・・・船積予定貨物量処理部、
- 2・・・手配明細ファイル部、
- 3・・・船積予定ファイル部、
- 4・・・箱割基準情報ファイル部、
- 5・・・重量基準ファイル部、
- 6・・・入出力部、
- 7・・・プリンタ、
- 11・・・手配情報登録手段、
- 12・・・船積予定品指定手段、
- 13・・・箱割処理手段、
- 14・・・船積予定貨物量処理手段、
- 15・・・リスト作成手段である。

特許出願人 日本電気株式会社
代理人 弁理士 河原 純一

第1図



第 2 図



PAT-NO: JP404115358A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 04115358 A
TITLE: PROCESSING SYSTEM FOR ESTIMATED AMOUNT OF SHIPPING CARGO
PUBN-DATE: April 16, 1992
INVENTOR-INFORMATION:
NAME
MACHIDA, AKITOSHI
SHIOJIMA, FUKU
INT-CL (IPC): G06F015/21, B65G063/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To improve the efficiency and accuracy of shipping work by mechanically executing a series of processing such as the registration of prepared goods, the specification of goods to be shipped, box allocating processing, the processing of the estimated amount of shipping cargo, and list preparing processing.

CONSTITUTION: A shipping-scheduled cargo amount processing part 1 inputs the names of prepared goods in an office, the amount of goods, etc., from an I/O part 6 and registers the inputted contents in a prepared details file 2 by a prepared information registering means 11. A shipping-scheduled goods specifying means 12 refers to preparation information, applies shipping instruction in each shipping lot unit and registers the instructed result in a shipping schedule file part 3. A box allocating processing means 13 refers to a box allocation reference information file 4, executes box allocating processing based upon the information of goods to be shipped in the file part 3 and registers the processed result in the file part 3. A shipping-scheduled cargo amount processing means 14 refers to a weight reference file part 5, calculates the estimated amount of shipping cargo based upon the information of the file part 3 and registers the calculated result in the file part 3, and finally a list preparing means 15 prepares a list and outputs the list to a printer 7.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio